

栄光園だより
第120号
2020年7月31日発行
発行 栄光園
社会福祉法人
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
<http://www.eikoen.jp/>
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

栄光園創立の原点に 立ち返った養育

理事長 江口敏一



創立のいきさつ

日本が敗戦で終わった第二次世界大戦の戦後処理と朝鮮戦争への対応から米軍が別府へ駐屯することになった。鬼畜米英、一億総玉砕と叫んだ戦中の日本の状況を想定して周到な準備の下、米兵の駐屯が行われた。兵士は常に死が隣り合わせであることから、軍隊の移動とともに礼拝する場所と機会も常に付随していた。また、兵士集団は明日の予測不可能な状況下で、女性を求めるのも事実であった。一般市民からすると数年前まで敵国であったその兵士と抱き合う女性は軽蔑のものであった。当然、その結果生まれてくる子どもは、家系や血筋を重んじる日本の伝統からしても汚らわしい存在であったに違いない。その誰もが見向きもしない子どもたちに米兵は自分たちの食事の一部を与えたとの記録もあるが、

継続した生活全体の支援には及ぶべくもなかった。

ノンフィクション作家山崎洋子著の「女たちのアンダーグラウンド」戦後横浜の光と闇」によると横浜では外人墓地の片隅に800体を超える混血児の遺体遺棄があったと記されている。横浜を舞台にした小説で獅子文六は「混血児が敗戦や売春と結びつけて考えられ、一種の不快感を伴うであろうが、正しい結婚により生まれた子と売春による子どもに人種差別がある道理がない。」と語っている。

別府では「罪のない子どもたちのことを心を寄せた宣教師キャザリン・ステイブンスが「神の栄光のために」(For the glory of God)と使途を明確にして、当時のお金で50万円寄付された。それを基に1950年別府不老町教会牧師野町良夫が理事長となり、教会員の小郷虎市・小福夫妻が事業を担うことで財団法人基督教栄光園が発足した。早速、用地を確

保し施設の建築を行い、1952年4月に竣工して乳幼児の受託を開始した。しかし、同年9月の開園式3日後に漏電により建物焼失。復旧に全力を投じて、翌2月に完成したが、虎市は心臓破裂で逝去。以後1985年まで小郷小福が中心となり栄光園をけん引。爾後、小郷穆子、小郷晶子が引き継いで2010年まで理事長・養護施設長の任を担ってきた。

法人の理念

この財団法人基督教栄光園は、1951年の社会福祉事業法成立により、1954年社会福祉法人栄光園と改名した。法人名の基督教を理念として継続するため、定款の第一条の事業の目的に「法人経営の目的をキリストの愛と信仰の理念に基づき、多様な福祉ニーズを有する利用者の意向を尊重し、創意工夫を持って総合的にサービスを提供することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、地域社会において自立に向けて心身ともに健全に育成されるように支援すること」とした。

養育に携わる私たちが、キリストの愛と信仰の理念に基づく人間観・価値観を持つていくかが問われる。2年前に制定されたキリスト教に基づく「社会福祉法人栄光園の理念と使命」に明確に示されているのは、養育の主体者である子どもは、聖書の「創世記」に記されているように、神の被造物・神の傑作であり、だれも冒すことのできない尊厳と価値、祝福を生まれながらに与えられていると明確に示した。

子どもは神の傑作

実際、子どもは誰の作品かと問うと、多くの人は親の作品と答える。この弊害は、親によって子どもの価値が定められやすいこと、親が子どもを所有物のように考え、虐待へつながりやすいこと、子どもに對する畏敬の念が生じ難いことである。

人の誕生を顧みると、母親の胎内で受胎が決定され、男女に定められ、DNAの情報に基づいて細胞分裂を繰り返して成長し、出産に際しては、産声と共にへその緒からの栄養補給と呼吸の切り替えが瞬時になされている。森羅万象、天地自然のあらゆる摂理は人知を超えた神のご計画であると信じるしかないように思う。

実際、聖書には「主なる神はあなたを母の胎内に造る前からあなたを知っていた(エレミヤ1:5)。「主なる神は、わたしの内臓を造り、母の胎内に私を組み立ててくださった。胎児であったわたしをあなたの目は見ておられた。私の日々はあなたの書に全て記されている(詩編139:13-16)」と生まれる前からこの世を去ったのちまで私たちの人生が全て命の書に記されていると考える方が自然であろう。

そう考えると、今まで自分の意志と考えて生きてきたとの思いから、生かされてきたとの発想に切り替えざるをえない。私を生かして下さる方は、私に何をさせようと考えておられるのか問い続け、私のしたいことと主なる神が私にさせたいことに心して、謙虚に神の傑作である子どもたちの養育に励まなければならぬ。

児童養護施設

ピカピカの1年生

オゴウホーム保育士 奈須 琴海

今年度オゴウホームで1年生となった児童がいます。3月よりランドセルや小学校で使う文具を揃えて入学準備を始めた時から、期待に胸を膨らませて1年生になることを楽しみにしている様子が伺えました。入学式では早速教科書を買ったり、教室に行くとき自分の机と椅子があったり、すべてが今までに体験したことがない新しいことだらけでした。不安よりも1年生になり、また一つ大きくなったことの嬉しさが大きく、笑顔でいっぱいでした。

入学式を終えていよいよ新しい生活のスタートと意気込んでいましたが、コロナウィルスの影響で4月・5月はなかなか登校できない状況が続きました。学校に登校できない分、家庭学習には一生懸命取り組み姿が見られました。できたことを認め、学校に行くことができない期間で気持ちが途切れてしまわないように支援してきました。6月からは通常登校が開始され、友だちとの関わりや勉強等とも充実した日々を送っており、「学校楽しい！」とよく口にしています。

1年生になるにあたって心配な面もたくさんありましたが、今は彼女自身がお姉



パンデミックと子どものストレス

公認心理士/臨床心理士 井生 浩之

2020年3月11日、WHOが新型コロナウイルス感染症のパンデミック(世界的大流行)を認定。その時から早くも3か月以上が経過しました。この間、学校では臨時休校や分散登校、栄光園では保護者や友人との交流制限時期によっては交流禁止、そして、国による緊急事態宣言。これまでの常識があまり通用しないストレスに満ちた日々の連続であり、それは未だに払しょくできていません。

さてこのような状況下で、栄光園の子どもたち、そして、おとなもストレスフルに陥りました。いわゆる災害時の「異常事態における正常な反応」です。これに対してどのような工夫(実践)をしてきたのかをご紹介します。第1段階は「共有すべき正しい知識と対応策の選別」です。パンデミック認定からしばらくは、どれが有用な情報なのか分からなくなるほどマスメディアの情報が交錯しました。その後、時間の経過を経て、それらが少しずつまとまり始めたのが4月半ば。緊急事態宣言の頃だったように思います。それでも、まとめ資料やマニュアルがインターネット上で公開され、それらは類似ではあるものの微妙に異なっていました。その選別には本当に迷い、混乱したと言っても過言ではありません。そんな中、栄光園では地元の別府市総合教育センター公開の「感染症対策下における子どもとのストレスとその対応」を参考資料にすることが決定しました。その資料は、ストレス状況下のため、いつもと違う反応や行動が見られるこ

とがある(我慢系、不安系)基本的には風邪の予防と同じ「安心感の提供が最優先」予防および規則正しい生活を心がける「子どもだけでなく、おとなも適度な休憩をとり、落ち着いて過ごす(おとなが不安になると、子どもはさらに不安になる)となっています。この資料を元に、第2段階として「全職員での、知識と対応策の共有」を行いました。具体的には心理職である私が職員一人一人に対して、その理解度に合わせて心理教育を実施しました。その際、元々、その傾向があった子どもの不安が強くなっている「グズグズ泣く姿が増えた」等が判明。やはり一部の子どもに症状がでていました。パンデミックの影響でそうになっているのかもしれない。その視点を保ちながらの第3段階「長い目で」経過観察となりました。なお、観察だけでなく、普段以上に子どもを褒めたり、子どもが不穏になると深呼吸や音楽を聴くように促したりする職員の姿がありました。さて、第3段階になつてから2か月ほどたった現在ですが(緊急事態宣言は解除、学校も通常登校)、先の症状は小康状態となっており、今のところはホッとしています。ただし、暗転はあり得るという緊張感は手放さずに留めておきたいところです(過度な期待は落胆が大きいです)。

さんになったと感じているように、私もランドセルを背負っていく背中に成長を感じています。小さなことを一つ一つ一緒に丁寧に行いながら、彼女の成長を支援していきたいです。

新型コロナウイルスによる自粛生活について

ノマチホーム長 藤本 一明
保育士

前年度から急速に蔓延した新型コロナウイルスの影響により、施設としても、在籍児童や職員の感染防止のためにマスクをし、不要不急の外出は避けるようにする

などの自粛生活を余儀なくされました。そのために退所間際の児童へのお祝いの行事も行うこともできず、児童らも職員も残念な思いと、新型コロナウィルスへの憤りを隠せませんでした。

しかし、いつまでも悲観的にしてはいただけません。出来る限りの範囲で、毎日を快適に楽しく過ごすために、テイクアウトメニューを利用し、ホームパーティを行ったり、職員の発案でテレビゲームを準備し、一緒に遊んだりなど、普段できない過ごし方を楽しみました。また、幸いなことに当園には広いグラウンドがあるため、地域小規模のノマチホームから本園までマスク

を着けて遊びに行き、部活動等に参加出来ない児童も身体を動かして遊んだり、自主練に励んだりすることが出来ました。

年度が替わっても、登校自粛が続いたために、今年度から新しくホームのメンバーに加わった小学1年生は入学式が終わっても、登校できないために、早く学校に行きたいという期待を膨らませていました。6月からほとんどの学校が通常登校に戻り、学校に行ける喜びを改めて感じているようです。

高校生や、高校受験を控えた中学生もいる中で、健康には気を付けて頑張ってもらいたいと思います。

乳児院

保育主任 本庄公多子

雨の日こそ楽しんで過ごそう

梅雨に入り一日中雨が降っていると、子どもたちも大好きな外遊びができずに持て余しています。子どもたちが少しでも飽きないようにと、保育者は様々な工夫をしています。

例えば、室内だけではなく廊下も遊び場の一つとして、自由に部屋と行き来できるようにしたり、廊下をアスレチックのようにして、子どもたちが登ったり下りたりできるようにしたり、園舎の端から端まで自由に移動し、他グループの子どもたちと交流したりしています。

また、雨が止むと雨がっぱを着て、長靴を履いて園舎の周りを歩くと、子どもたちは生き生きとした表情で保育者よりも先に歩いて行こうとします。

コロナ感染の影響で外出もままならな



い中、今度は梅雨となかなか思うように戸外での活動ができませんが、ちよつとした工夫で子ど



もたちが快適に過ごせるようにと思いま

食育について

今年も、夏野菜(ミニトマト)やサツマイモを植えました。

ぞうグループの子もたちは、保育者と一緒に水やりの手伝いをし、うさぎグループの子もたちは、散歩の途中で、花の咲いている様子を見たり、小さい実を見つけたりしています。

最近トマトが色を付け始めました。保育者が「こうやって採るんだよ」と言うともまだ熟していない実まで採ってしまうなどのハプニングもありますが、まだまだこれからたくさんの実がなると思うので、子どもたちと一緒に収穫を楽しみたいと思います。

また、ぞうグループの子もたちは栄養士に教えてもらいながら、おやつ作りにも挑戦しました。パンケーキの飾りつけをしたり、フルーチェを混ぜたりしました。日頃も手作りおやつはよく食べている子どもたちですが、目の前で出来上がっていく様子を見て、自分で手を加えると格段



に食欲が増すようで、何度もおかわりをしていました。毎日出来上がったものを当たり前前に食べていますが、野菜が出来る過程を見て、収穫したものを食べることや、作る過程に子どもたちが参加することは、食べ物の大

聖書の言葉

「わたしが命じるすべての掟と戒めを守って長く生きる」(申命記6:2)

別府不老町教会伝道師 尾崎 二郎

齋藤真行牧師より「聖書の言葉」欄の執筆を引継ぎました伝道師の尾崎二郎と申します。よろしくお願いたします。さて、表題の聖書の御言葉は旧約聖書から採られています。旧約聖書は「混沌」の世界です。そこには今の私たちが抱える傷つきや悩みの数々がリアルに記されています。例えば、詩編12:2、3には「主よ、お救いください。主の慈しみに生きる人は絶え、人の子らの中から信仰のある人は消え去りました。人は友に向かって偽りを言い、滑らかな唇、二心をもって話します。」と記されていますが、ここには友達に向かって偽善的に振舞う人間の姿があります。

さて新約聖書に入り、イエス様はこのような罪多い人間みんなに「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」といわれて、一人一人が、抱えている罪から解放される道を示されました。聖書が語る罪は、先ずアダムによって犯されました。アダムは「園の中央に生えている木の果実だけは、食べてはいけない」という主なる神からの「掟」を破って、それを食べてしまいました。掟とい

今日はお話が少し難しくなりましたが、いしましたが、キリスト教の聖典は、旧約聖書と新約聖書で全です。それは今後増えることも減ることもありません。ですから私はこれから、この聖書を今を生きている私たちが直面する問題に添えるような形で、分かり易く説明していきたいと存じます。共に聖書の言葉に耳を傾けてまいりましょう。

切さや、おいしさを味わうことが出来ると思います。このような経験をすることで乳児院の子もたちが「食」に関心を持ち、感謝することが出来るようになると良いなと思います。



青山保育所

絵本との出会い

保育士 阿部 梢



子どもたちの身近には様々な種類の絵本があります。繰り返しのある言葉や音、動作、色彩形などを楽しむもの、日常生活の中で実際に使用するもの・耳にするものがたくさん登場するもの。様々な体験を通してそれらが徐々に結びついていたり、ゆっくると言葉の理解へと繋がってまいります。

また絵本を通して身の回りの様々なものや事柄に対し、より興味や親しみをもっていけるようになると良いなと思っています。

例えば1歳児のお友だちは年度の初めの頃から比べると、保育士に読んでもらうだけではなく、自分でページをめくる姿も見られるようになりまし。中にはお気に入りの絵本を見つけて、「これ！と指差しアピールしたり、絵本に出てくる登場人物の動きを部分的に模倣したりする姿も見られるようになりまし。そうした姿からも絵本が子どもたちにもたらす影響の大きさを改めて感じまし。今後子どもたちの絵本との出会いを大切にしてまいります。

青山保育所におけるコロナウイルス感染拡大防止対策の取り組みについて

青山保育所 施設長 本庄 智宏

世界中でいまだに猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、日本は世界に比べると比較的落ち着いた状況です。しかし、各地でまた新たな感染者が報告されているように安心できる状況ではないことは変わりありません。青山保育所においても新型コロナウイルスの感染が疑がれたところから様々な対策を余儀なくされました。その対策の取り組みをここで紹介します。

まず始めにおこなったことは、園児の登園前の検温でした。家庭で検温してもらい、健康観察カードに毎日記入して提出してもらいます。37.5℃以上ある場合は登園を控えてもらうようお願いしました(健康観察カードの提出は6月以降解除しています)。

また、職員にも同じように出勤前の検温結果をカードに記入し、体調不良や37.5℃以上ある場合は出勤停止といった対応をおこなってまいまし。

さらに職員および園に出入りする保護者や業者の方にはマスク着用の義務化をお願いしました。消毒に関しては、遊具や机、椅子等の人が触れるものすべてに消毒を毎日施し、各部屋はもちろん、トイレ前や廊下など、いたるところに消毒液を設置し、常に手指消毒ができるようにいたしました。また、各部屋に空気清浄機を購入設置するとともに、子どもたちが帰った後には室内各所を噴霧消毒して回るといったように衛生面に対してか

みんな大好きクッキング

主任保育士 二宮 孝介

1・2歳児はフルーチェ、3歳児はゼリー、4・5歳児はホットケーキ作り、6歳児はゼリー、ホットケーキ作りには牛乳を量るときに、グループのみんなが目盛りを見ながら、牛乳を注いでいる人に「ストップ」と伝えていて、役割分担をしている姿はさすがに年中、年長クラスだなと感じまし。また、友だちと順番に混ぜたり、その様子を興味深そうに観察したりして目を輝かせている子どもたちの姿が印象的でした。クッキングは、混ぜるという作業が色、ホットケーキの

なり気を付けてまいまし。

こうした感染拡大防止対策をしている最中にも、行政からの情報や注意喚起の知らせが多い時には毎日のように届き、そのたびに保護者や職員に対して注意喚起を促して感染拡大の危機意識を持ってまいまし。

保育に関しては、3月の卒園式を栄光園ホールから自園に場所を変更し、保護者の参加人数を制限する中でおこないまし。またその後の保護者が参加する行事に対しては8月の夏祭りまで中止とする苦渋の選択をいたしまし。今年度で卒園する子どもたちや保護者の皆様には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

国はコロナウイルスから小中学校の子どもたちの命を守るため、休校の措置を取りまし。保育所や児童クラブには社会経済を回すためにと開園することなく開所の指示でした。その中で子どもたちや職員の命をどう守っていくのか、判断と決断を迫られ心身とも疲労困憊の日々が続きまし。このコロナウイルスの影響で、様々なことが中止や縮小となる中でも、少しでも子どもたちが楽しく過ごせるようにと保育の在り方を職員みんなが工夫し、模索してまいまし。この先もまだまだコロナ対策は続くと思いまし。これからも対策をしっかりとおこないながら、職員一丸となって楽しい保育を展開していきなりたいと考えていまし。

丸い形、出来るまででに嗅げる様々な匂いなど子どもたちの学びの大切な要素がたくさん含まれていまし。私たち保育士もそうグ活動を進めていきなりたいです。

リズムミックスをしました

保育士 小野 恵里

子どもたちは保育士がピアノを弾き始めると歌に合わせて歩いたり、跳んだり自由に身体を動かすことが大好きです。ばんだ組(1・2歳児)の子どもたちもとても好きでリズムミックス遊びにながら表現するのを楽しみました。音楽を通して自由に表現することの楽しさを十分に感じられるようになつてもらえたらと思いまし、15分程度の活動を定期的に行つていまし。

初めは保育士の真似をして一緒に動いたり、その場に座って友だちがしている様子をじっと伺っていたり、中には終始ハイテンションで部屋の中を走り回ったりと、それぞれが自由に動き回っています。しかし、回数を重ねていくうちに保育士の言葉掛けだけで動いていたのが、いつのまにか自分の耳で音(ピアノの合図)を聞いて、自分なりに動く時や止まる時を判断したり、合図を出している保育士の方を注意深く見たりなど集中して取り組んでいる様子がよく伝わり、私たちが自由な活動が楽しめるようになっていくなことを楽しみにしていまし。



野口保育所

主任保育士 末吉 佳奈

新年度が始まって3ヶ月が経ちました。新型コロナウイルスの影響で親子遠足や保育参観など保護者参加の行事が次々と中止になり残念ですが、そんな中でも園内行事や毎日の保育を子どもたちが楽しめるように職員みんなで考えながら日々保育に取り組んでいます。子どもたちは、毎日元気に保育士や友だちと一緒に遊び、元気が過ぎしていません。梅雨の間も雨の日ならではの遊びを楽しみ、今月からはプールや水遊びも始まります。そんな子どもたちの様子を少しずつですが、お伝えします。

子どもの日のお楽しみ会

今年度は3密を防ぐためにも、各クラスで子どもの日を楽しみました。年齢に合わせての制作や



由来の話など様々な活動をクラスごとに行いました。自分たちが作った大きなこいのぼりが泳いでいると子どもたちは「こいのぼり大きい」と言いながら、「こいのぼり」の歌を歌い、とても喜んでいました。また、保育園の玄関には4・5歳児の男子たちが兜を飾ってくれました。子どもたちの健やかな成長を願っています。

大きくなーれ♪

今年度は、食育でプチトマトやピーマン、オクラ、キュウリなど各クラスで植え、交代で水やりをしながら観察をしています。芽が出て来てくると子どもたちは「先生、芽が出てきた!」「大きくなーれ!」ととても喜んでいました。プチトマトが色づくときこそく美味しくそく美味しそうに食べたり、ピーマンを収穫したりしました。自分たちが育てた野菜は、子どもたちもよく食べおかわりもしていることをお家の方にお知らせすると、「家では野菜食べないのに!」と驚いていました。食育の大切さを痛感します。



給食室に見学に行ったよ

今年度食育の一環として、いつも自分たちが食べている給食はどのように作られているのかを知っていただくために、めろん組の4・5歳児が給食室へ見学に行きました。きちんと手を洗いマスクをつけ衛生面にもしっかり気を付けてグループごとに見学。子どもたちは調理用具に興味津々で「それなに?」「どうするの?」など聞いたたり、給食の先生が作っている様子を見ていました。その日の給食は、見学したこともあり、いつも以上に美味しくなった



集いの場 くるみ再開に向けて

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な行事や活動が中止、延期され、集いの場くるみも3月から6月までの4か月間活動を自粛してまいりました。

政府からの自粛要請も解除されておりますが、下記の点に留意しながら感染防止に努めていきます。

- ① 3密の回避(密閉・密集・密接)の徹底
- ② 新しい生活習慣の徹底
(手洗い・マスクの着用・定期的な換気・参加者の手が触れる場所の消毒)
- ③ 受付時健康チェック表の提出のお願い及び、検温、手指の消毒、活動中のマスクの着用をお願いします。
- ④ 密集を避けるため、参加人数の調整を行う(事前予約をお願いします)
- ⑤ 密閉を避けるため戸外での活動や食事をおこなう。ただし、熱中症の危険性も考慮し活動・食事の場所を決定する。室内で行う場合は、ホールを使用する。また、ホール使用の際は、30分ごとに換気を行う。
- ⑥ 密接を避けるため活動内容を工夫し、食事の場合は、座席の位置にも配慮していく。
- ⑦ 熱中症の危険性を避けるため、戸外の場合お互いの距離を保てるようであればマスクを外して活動させるようにする。また、水分補給も随時行っていく。その際、自身の持参した水筒を使用するようにする。水筒への水分の補充を適宜行っていく。

新型コロナウイルスの感染防止のため、人と人の距離を取ること、人とのかわりを減らしていくことが求められました。そこで、これまでと違った方法で人とのつながりを作っていく必要がでてきました。今後は、皆さんが安心して参加できる受け入れ態勢を整え、感染防止を図りつつ、人とのつながりを作っていく方法を考えていきたいと思っております。

「集いの場くるみ」が、子どもたちにとっても、子育て中の親御さんにとっても、地域の方がたにとっても、人と人のつながりを作っていく温かい場所となるよう心を尽くしていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

七夕

今年度は、全クラスで1つの七夕の作品を作りました。日にちを分けて、3歳児はのりを使って笹や葉っぱを作ったり、4歳児は天の



ようでおかわりしてよく食べていました。今年度は、他にも子どもたちが「食」を楽しめるようクッキングや出張おやつなど色々な活動を計画しています。

川の部分を絵の具で塗り、5歳児は織姫・彦星を作りました。4歳児が塗った天の川に未満児が星をたくさん貼り完成しました。出来上がると子どもたちは「わあ!」と目を丸くして喜んでいました。七夕会では、保育士のパネルシアターを見たり、シルエットクイズに参加したりと楽しんで参加していました。みんなの願い事がかないますように…。

2019年度

決算報告

貸借対照表

(自)2019年4月1日(至)2020年3月31日

(単位：円)

資産の部

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
流動資産	237,248,589	73,569,784	56,521,029	56,363,421	26,190,385	24,603,970
基本財産	234,153,246	0	210,645,423	14,669,140	5,729,371	3,109,312
その他の 固定資産	450,867,395	194,787	160,551,969	230,329,184	30,753,384	29,038,071
資産の部合計	922,269,230	73,764,571	427,718,421	301,361,745	62,673,140	56,751,353

負債の部

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
流動負債	17,723,475	1,700	7,080,405	3,069,896	3,492,271	4,079,203
固定負債	46,372,670	0	15,115,335	12,739,842	8,770,212	9,747,281
負債の部合計	64,096,145	1,700	22,195,740	15,809,738	12,262,483	13,826,484

純資産の部

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
基本金	119,370,926	0	65,190,353	45,671,093	8,509,480	0
国庫補助金等 特別積立金	134,294,420	0	116,728,777	10,375,107	5,701,988	1,488,548
その他の 積立金	367,792,000	0	127,722,000	202,303,000	21,047,000	16,720,000
次期繰越活動 増減差額	236,715,739	73,762,871	95,881,551	27,202,807	15,152,189	24,716,321
純資産の部合計	858,173,085	73,762,871	405,522,681	285,552,007	50,410,657	42,924,869
負債及び 純資産の部合計	922,269,230	73,764,571	427,718,421	301,361,745	62,673,140	56,751,353

グレースホームの集い

栄光園を巣立った卒園生、栄光園を支援して下さる皆様
の集いとして、例年8月にグレースホームの集いを開催して
おりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、
9月に開催を延期させていただきます。

今回は、感染防止対策として内容を一部変更し、時間短縮
での開催といたします。

日時：2020年9月20日(日) 11:30~13:30

場所：栄光園 (TEL.0977-23-2827)

事前に電話をいただければ助かります。もちろん参加費は
無料です。お志等も固く辞退させていただいております。

※感染状況によっては、開催を中止させていただくこともあります。

2019年度寄付・招待・奉仕報告

項目	協力者人数	金額	備考
賛助金	78名	1,405,000円	子どもの養育の事業費等
一般寄付	63名	2,271,910円	高校生の部活 児童の習い事・社会体験
自立進学資金 [※]	29名	662,000円	卒園者自立生活支援(無利子貸 付と返済)等進学児童に支給
特別物品寄付 招待・奉仕	215名		農作物・菓子類寄付 コンサート招待・芋掘り 学習ボランティア・散髪等
計	385名	4,338,910円	

上記の他、目的を明記した遺贈50,000,000円がありました。感謝。

※自立進学資金 ●上級学校(4年制大学・短期大学・専門学校)に進学する児童に50万円支給する。

【規定】 ●支給以上の進学に必要な経費は、サポートを受けることができる。

しかし、奨学金制度等を利用し返済を行う。(一部記載)
上記のように児童養護施設で、自立進学資金の規定を2018年11月30日に作成
しました。そして、2019年度専門学校に入学する児童1名に支給しました。

2019年度

決算報告

資金収支計算書 (自)2019年4月1日(至)2020年3月31日

(単位:円)

事業活動による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
児童福祉事業収入	454,450,897	0	248,604,869	205,846,028	0	0
保育事業収入	173,988,841	0	0	0	91,438,720	82,550,121
経常経費寄附金収入	54,338,910	51,501,000	2,471,910	366,000	0	0
受取利息配当金収入	36,451	560	10,719	20,432	2,111	2,629
その他の収入	11,566,908	1,939,620	3,782,517	1,218,275	947,000	3,679,496
事業活動収入計①	694,382,007	53,441,180	254,870,015	207,450,735	92,387,831	86,232,246

事業活動による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
人件費支出	482,884,870	0	179,376,389	148,417,689	83,114,081	71,976,711
事業費支出	63,981,016	0	27,873,956	14,803,779	11,179,295	10,123,986
事務費支出	37,576,023	2,601,506	14,419,003	11,512,065	5,890,412	3,153,037
その他の支出	2,295,460	0	2,295,550	0	0	-90
事業活動支出計②	586,737,369	2,601,506	223,964,898	174,733,533	100,183,788	85,253,644

事業活動資金収支差額

事業活動資金収支差額③=①-②	107,644,638	50,839,674	30,905,117	32,717,202	-7,795,957	978,602
-----------------	-------------	------------	------------	------------	------------	---------

施設整備等による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0
施設整備等収入合計④	0	0	0	0	0	0

施設整備等による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
設備資金借入金元金償還支出	2,000,000	0	2,000,000	0	0	0
固定資産取得支出	4,499,206	0	3,030,406	1,326,800	142,000	0
施設整備等支出合計⑤	6,499,206	0	5,030,406	1,326,800	142,000	0

施設整備等資金収支差額

施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-6,499,206	0	-5,030,406	-1,326,800	-142,000	0
------------------	------------	---	------------	------------	----------	---

その他の活動による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0
その他の活動による収入	0	0	250,000	0	0	0
その他の活動収入計⑦	250,000	0	250,000	0	0	0

その他の活動による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
積立資産支出	58,560,140	0	25,781,560	30,862,900	1,076,400	839,280
その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0
その他の活動支出計⑧	58,560,140	0	25,781,560	30,862,900	1,076,400	839,280

その他の活動資金収支差額

その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	-58,310,140	0	-25,531,560	-30,862,900	-1,076,400	-839,280
-------------------	-------------	---	-------------	-------------	------------	----------

当期資金収支差額合計

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	42,835,292	50,839,674	343,151	527,502	-9,014,357	139,322

前期末支払資金残高

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
前期末支払資金残高⑪	176,689,822	22,728,410	49,097,473	52,766,023	31,712,471	20,385,445

当期末支払資金残高

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
当期末支払資金残高⑩+⑪	219,525,114	73,568,084	49,440,624	53,293,525	22,698,114	20,524,767

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となっております。ことをいつも嬉しく思います。

児童養護施設の子どもの進学等を重点的に支援する目的で始めた「自立進学資金(栄光園ファミリークラブ)」の枠は上級学校への進学により社会で活躍できる領域を格段に広げる重要なアフターケアだと考えております。現在当園でも中高生が児童の6割を占めるようになりました。どうか子どもたちの未来にお力をお貸しください。よろしくお願いたします。

栄光園をお支えいたしておられる皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお祈りいたしております。

【2020年4月1日より2020年6月30日まで】

賛助金

- 安部道人様 大分市
- 岩田哲也様 大分市
- 大内矯正歯科大内英明様 大分市
- 岡口文明様 大分市
- 木村洋子様 大分市
- 立花旦子様 大分市
- B混記念合唱団クールあおやま様 別府市
- 平川順子様 別府市
- 別府不老町教会様 別府市
- 帆足和生様 別府市
- 帆足球也様 別府市
- 村津忠久様 別府市
- 山口産業(株)様 別府市
- 渡辺暁子様 別府市
- 東京都練馬区 別府市

一般寄付

- 阿部董様 日出町
- 梶原康弘様 大分市
- 川本順平様 別府市
- 小手川裕子様 別府市
- 匿名様 別府市
- 匿名様 大分市
- 匿名様 由布市
- 友永丈一様 別府市
- 原順子様 別府市
- 松本小児科 別府市
- 八代会会長 日岬町
- 協力者 首藤広文様・中根伸一様
- 角野勝久様・中根秀徳様
- 佐藤義弘様・浅野誠三郎様
- 佐藤聖二郎様・嶋田徳行様
- 松尾拓也様・穴井伸一様

自立進学資金

- 安東秀典様 大分市
- 神鳥慶子様 杵築市
- 松本常圃様 別府市

特別物品寄付

- お菓子 浅海重子様
- 野菜 河野篤様
- 折り紙くす玉 安部喜美子様
- パン 石窯工房モコモコ別府店様
- 玉ねぎ 伊藤一幸様
- 甘夏 上杉敬三様
- マスク 小野雅幸様
- 筍 甲斐尚臣様
- 醤油・小麦粉・ラーメン (株)豊豫物産様
- 書籍 (株)フレール出版本部様
- 牛乳 (株)森猛虎商店様
- お菓子 (株)ユーコー南のヶ浜店様
- 野菜 川本順平様
- 食パン 銀座に志かわ17号店大分明野店様
- おもちゃ 栗原一成様
- パン ココロト様
- 野菜 小谷志郎様
- 手作りマスク 小林輝星様
- 衣類・ぬいぐるみ等 斉藤咲代子様

マスク (株)JAPANHOPPE

ジュース さわか別府の里様

チョコレート セ・デュ・ナン様

マスク 税理士法人アール伊東哲也様

衣類 立山愛様

文具・靴 匿名様

米 匿名様

パン 友永パン屋様

マスク 豊栄プレジデント大道201様

お菓子・団子汁 南光物産(株)様

キウイ 二宮篤様

野菜 (株)九州錦運輸 二宮洋典様

マスク 別府商工会議所青年部様

服 宮崎京治様

マスク 宮本千鶴子様

タオル 村瀬久美子様

ぬいぐるみ・甘夏等 山本宜雄様

マスク (株)ヴィーナスギャラリ別府様

マスク (株)ダスカジャパンクアウテモク様

子どもの日和菓子 旅館千湯樓様

ウインナー・ペーコン等 御手洗サヨ子様

マスク 上海市人民対外友好協会様

マスク・アルコール (株)ちはらコーポレーション様

招待・奉仕

- 小中学習ボランティア 安東秀典・井上せつ子・山口香様
- 児童の散髪 Kへアー様
- 金曜学校 尾崎二郎・庄司宣充・吉武二郎様
- ハンドマッサージ 三浦・北山・平川様
- 園内草刈り さわか別府の里様
- 書道 荒金節子様
- 英語レッスン・サッカー・音楽 ティム・ディック様
- 抱っこボランティア グルーン様

郵便局での振込は左記までお願い致します。

口座名義 社会福祉法人 栄光園

口座番号 0193002120748

2020年度7月 職員の動静

退職 6月30日付

乳児院 芝崎 弘美 (看護師)

賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割可。

ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。

賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。



苦情等相談窓口

*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。
tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大により、不自由な生活を強いられました。学校も休校となる中、保育所は子どもたちを預かり続け、児童養護施設、乳児院でも、お預かりしている子どもたちに感染させないよう細心の注意を払って参りました。外出できないなど行動に制限がかかりストレスも溜まってきていたが、それぞれの施設の職員が頑張り、この4か月間を乗り切ることができました。当法人の施設に関わる方々の感染もなく、ありがたいという思いです。

新型コロナウイルス感染防止対策として各施設で様々な取り組みがなされてきました。今回は、保育所の取り組みや自粛期間中の子どもたちのストレスに対しての児童養護施設職員の対応について掲載させていただきました。しかし、新型コロナウイルス感染は終息したわけではありません。これからも引き続き「新しい生活様式」を実践し活力を取り戻していきたいと思います。(原田)